斜里町学校施設管理計画

令和 3 年 3 月

斜里町教育委員会

目 次

第1章 斜里町学校施設管理計画の背景･目的等 ･････････････････････････････････････ 1
1. 背景 ･･･ 1
2. 目的 ･･･ 1
3. 計画期間 ･･･ 1
4. 対象施設 ･･･ 1

第2章 学校施設の目指すべき姿 ･･･ 2
1.安全･安心な施設環境の確保 ･･･ 2
2. 教育環境の質的向上 ･･･ 2

第3章 学校施設の実態 ･･･ 3
1. 学校施設の運営状況･活用状況等の実態 ･････････････････････････････････････ 3

第4章 学校施設整備の基本的な方針等 ･･･ 14
1. 斜里町学校施設管理計画の基本方針 ･･･ 14
2. 改修等の基本的な方針 ･･ 15

第5章 斜里町学校施設管理計画の実施計画 ･････････････････････････････････････ 16
1. 改修等の優先順位付けと実施計画 ･･ 16
2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持･更新の課題と今後の方針～ ････････ 18

第6章 斜里町学校施設管理計画の継続的運用方針 ･･････････････････････････････ 19
1. 情報基盤の整備と活用 ･･ 19
2. 推進体制等の整備 ･･ 19
3. フォローアップ ･･･ 19

第１章　斜里町学校施設管理計画の背景・目的等

1. 背景

2021年（令和3年）3月１日現在、本町では、小学校２校、中学校１校、義務教育学校１校を合わせた学校４校と給食センター1 施設を維持管理しています。

このうち知床ウトロ学校・斜里中学校体育館・斜里小学校体育館以外の施設は築 30 年以上経過しており、全体的に老朽化・機能低下が進行しています。

今後、老朽化した学校施設の修繕や建替えに多額の費用が必要になることから、これらの適正な維持管理が課題となっています。

2. 目的

「斜里町学校施設管理計画（以下「本計画」という。）は「斜里町公共施設等総合管理計画」に基づく、学校施設の個別計画として位置づけます。

また、学校施設を総合的観点でとらえ、教育環境の質的改善も考慮しながら、長寿命化改修ができるものは長寿命化改修を実施し、それに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的とします。

3. 計画期間

本計画は、2021 年度から今後 40 年を見通すものとし、計画期間は 2021 年度から 2030 年度までの 10 年間とします。また、実施については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCA サイクルによる実行システムを構築します。また、計画の更新に関しては、5 年ごとに見直しを実施します。

4. 対象施設

学校施設	
小学校	２ 校
中学校	１ 校
義務教育学校	１ 校
給食センター	１ 施設

（表１ 対象学校施設）

第２章　学校施設の目指すべき姿

1. 安全・安心な施設環境の確保

学校施設は、児童生徒の学習と生活の場であるとともに、地域コミュニティや避難所としての役割を果たす施設であるため、安全かつ安心な施設環境を確保することが必要です。

児童生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や安全性に配慮した施設整備を図るとともに、障がいの有無に関わらず、誰もが安心して学校施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインやバリアフリーを積極的に進める必要があります。

2. 教育環境の質的向上

近年の教育内容・方法の多様化や児童生徒の生活様式の変化等も踏まえ、これまでトイレの洋式化、ICT 環境の整備等を行ってきましたが、今後も時代に即した多機能かつ高機能な教育環境の確保、また、高断熱材を採用するほか、LED 照明、人感センサー照明など省エネルギー化により、環境に配慮した施設整備を積極的に進める必要があります。

さらに、児童生徒一人一人の教育ニーズに応じて、少人数学習や特別支援教育に対応した施設を整備する必要があります。

また、余裕教室が出た場合の有効利用として、転用可能な多目的スペースを確保することにより、地域コミュニティや生涯学習の場として活用することも可能となります。

第3章　学校施設の実態

1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1)対象施設一覧

本町には小学校２校、中学校１校、義務教育学校１校、給食センター1 施設の計５施設があり、それぞれの建築年度及び面積は以下のとおりです。

（倉庫、部室、便所等の概ね 200 ㎡以下の建物は対象外としています。）

区分	施設名	建築年度	面積	合計面積
小学校	斜里小学校(校舎)	H2(1990)年	6,279 ㎡	7,510 ㎡
	斜里小学校(体育館)	H4(1992)年	1,231 ㎡	
	朝日小学校(校舎)	S63(1988)年	4,046 ㎡	5,246 ㎡
	朝日小学校(体育館)	S63(1988)年	1,200 ㎡	
中学校	斜里中学校(校舎)	S52(1977)年	6,152 ㎡	8,279 ㎡
	斜里中学校(体育館)	H24(2012)年	1,617 ㎡	
	斜里中学校(武道場)	S53(1978)年	510 ㎡	
義務教育学校	知床ウトロ学校(校舎)	H14(2002)年	3,412 ㎡	4,622 ㎡
	知床ウトロ学校(体育館)	H14(2002)年	1,210 ㎡	
給食センター	斜里町学校給食センター	H2(1990)年	658 ㎡	658 ㎡
合計				26,315 ㎡

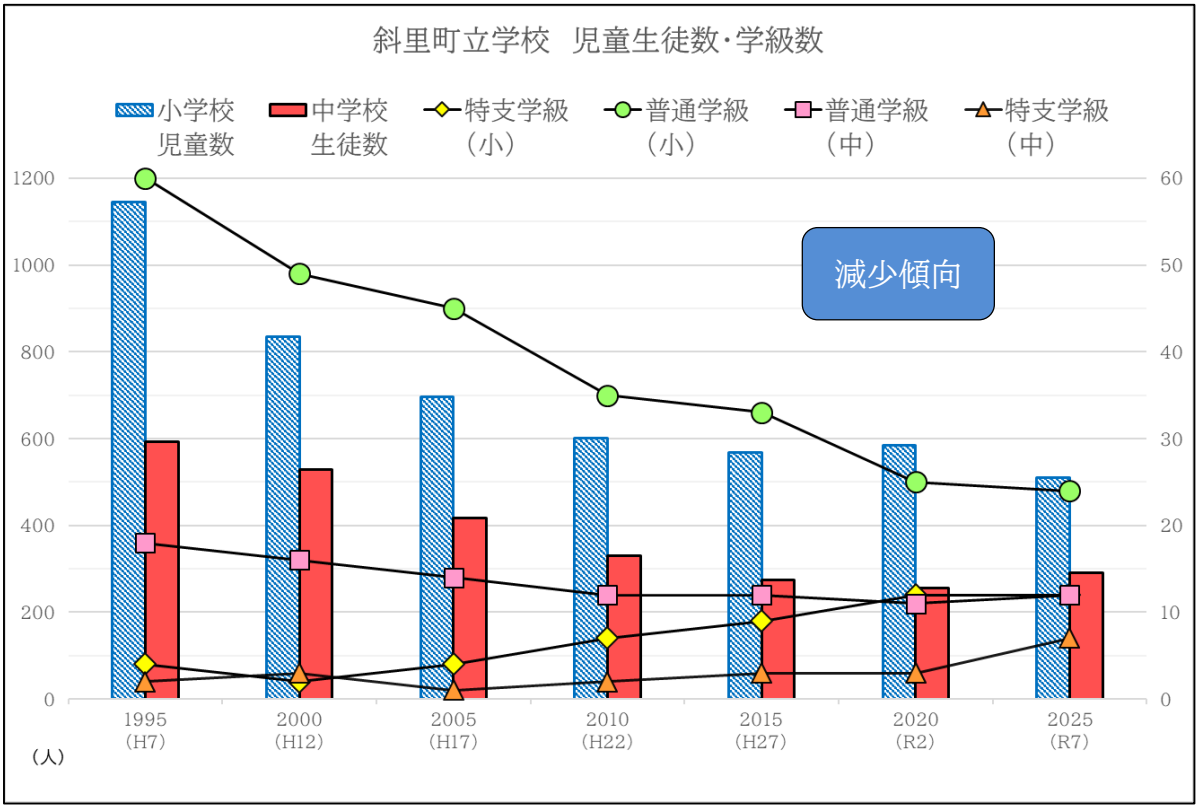
（表２　斜里町学校施設一覧）

（2）学校施設の配置状況

斜里町学校施設の配置は以下の図のとおりです。全５施設のうち、斜里市街地に４施設、ウトロ地区に１施設設置されています。

（図１ 斜里町学校施設配置図）

(3)児童生徒数・学級数の推移



（図２　斜里町立学校児童生徒数・学級数推移）

区分 / 年	小学校 義務教育学校（前期課程）児童数	中学校 義務教育学校（後期課程）生徒数	普通学級（小）	特支学級（小）	小学校 学級数計	普通学級（中）	特支学級（中）	中学校 学級数計
1995	1145	592	60	4	64	18	2	20
2000	835	528	49	2	51	16	3	19
2005	697	416	45	4	49	14	1	15
2010	600	330	35	7	42	12	2	14
2015	568	274	33	9	42	12	3	15
2020	584	255	25	12	37	11	3	14
2025	509	291	24	12	36	12	7	19

※2020 年までは実測値、それ以降は推測値

※参考：斜里町住民基本台帳

（表３　斜里町立学校児童生徒数・学級数推移）

(4)学校施設の築年別整備状況

下表の通り、本計画対象施設の延床面積は 26,315 ㎡ですが、このうち知床ウトロ学校・斜里中学校体育館・斜里小学校体育館以外の施設は築 30 年以上経過しており、その延床面積は 18,845 ㎡で、全体の 72%を占めています。

対象施設 5 施設のうち 4 施設が築 30 年以上経過しており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

通し番号	施設名	建物名	建築年	築年数（2021年時点）	面積
1	斜里中学校	校舎	1977	44	2,553 ㎡
2	斜里中学校	校舎	1978	43	3,599 ㎡
3	斜里中学校	武道場	1978	43	510 ㎡
4	朝日小学校	校舎	1988	33	4,046 ㎡
5	朝日小学校	体育館	1988	33	1,200 ㎡
6	斜里小学校	校舎	1990	31	6,279 ㎡
7	斜里町学校給食センター	給食センター	1990	31	658 ㎡
8	斜里小学校	体育館	1992	29	1,231 ㎡
9	知床ウトロ学校	校舎	2002	19	3,412 ㎡
10	知床ウトロ学校	体育館	2002	19	1,210 ㎡
11	斜里中学校	体育館	2012	9	1,617 ㎡
合計					26,315 ㎡

築 30 年以上経過している建物
18,845 ㎡
（全体の 72%）

（表 4　築年別整備状況）

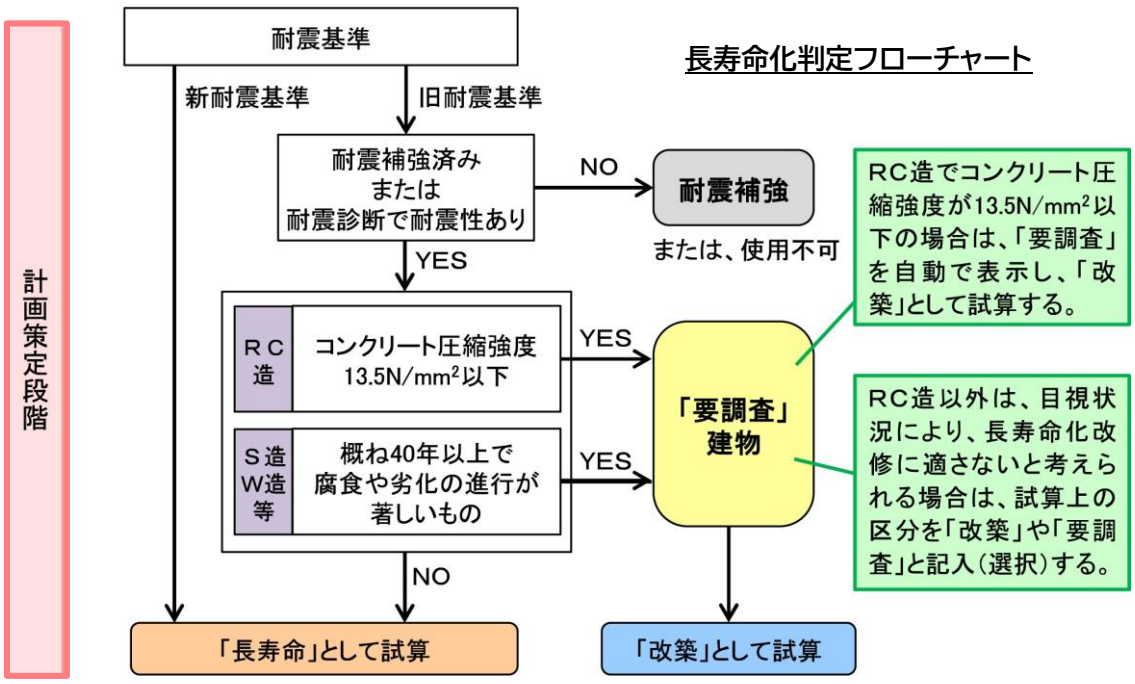
(5)学校施設の劣化状況

斜里町学校施設の劣化状況を把握するため、令和２年 10 月～11 月にかけて学校施設担当者と建設課担当者による劣化状況調査を実施しました。

調査の実施にあたっては、文部科学省作成の「学校施設の長寿命化計画作成に係る手引」等を参考に、部位毎の劣化状況を調査し、構造躯体（建物の構造を支える骨組）については「長寿命化」または「改築」、構造躯体以外についてはＡからＤまでの４段階に判定しました。

1)構造躯体の健全性

長寿命化において、建物を長期間使用していくためには構造躯体が健全であることが必要です。本計画の対象となる ５ 施設はすべて、新耐震基準・耐震化済みの建物であるため、「長寿命化」と判定しました。



（図３　長寿命化判定フローチャート（文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より）

2)構造躯体以外の劣化状況の把握

①評価基準

構造躯体以外の建物の 5 項目(「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」)については、下記の基準により評価しました。

【評価基準】

・目視による評価(屋根・屋上・外壁)

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上不具合発生の兆し
D	劣化が著しく、早急に対応する必要がある

(表 5 目視による劣化状況評価基準)

・経過年数による評価(内部仕上げ、電気設備、機械設備)

評価	基準
A	20 年未満
B	20 年～40 年
C	40 年以上
D	経過年数に関わらず劣化事象がある場合

(表 6 経過年数による劣化状況評価基準)

②健全度の算定

健全度とは、上記基準により判断された評価を基に 100 点満点で数値化した評価指標です。数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。

3)劣化状況調査の結果概要

①平成 23～24 年度にかけて大規模改修を行った「斜里中学校」は、床や内部壁に少し損傷がありましたが、概ね良好な状態でした。(健全度 100～88)

②平成 14 年度に建設された「知床ウトロ学校」は、外壁と屋根に部分的な劣化が見られましたが、概ね良好な状態でした。(健全度 93～91)

③築 30 年以上経過する「斜里小学校」・「朝日小学校」・「給食センター」は、これまで大規模改修等を行っていないため、5 項目すべてで劣化が見られました。(健全度 77～75)

学校施設劣化度評価結果一覧

A ： 概ね良好　　B ： 部分的に劣化

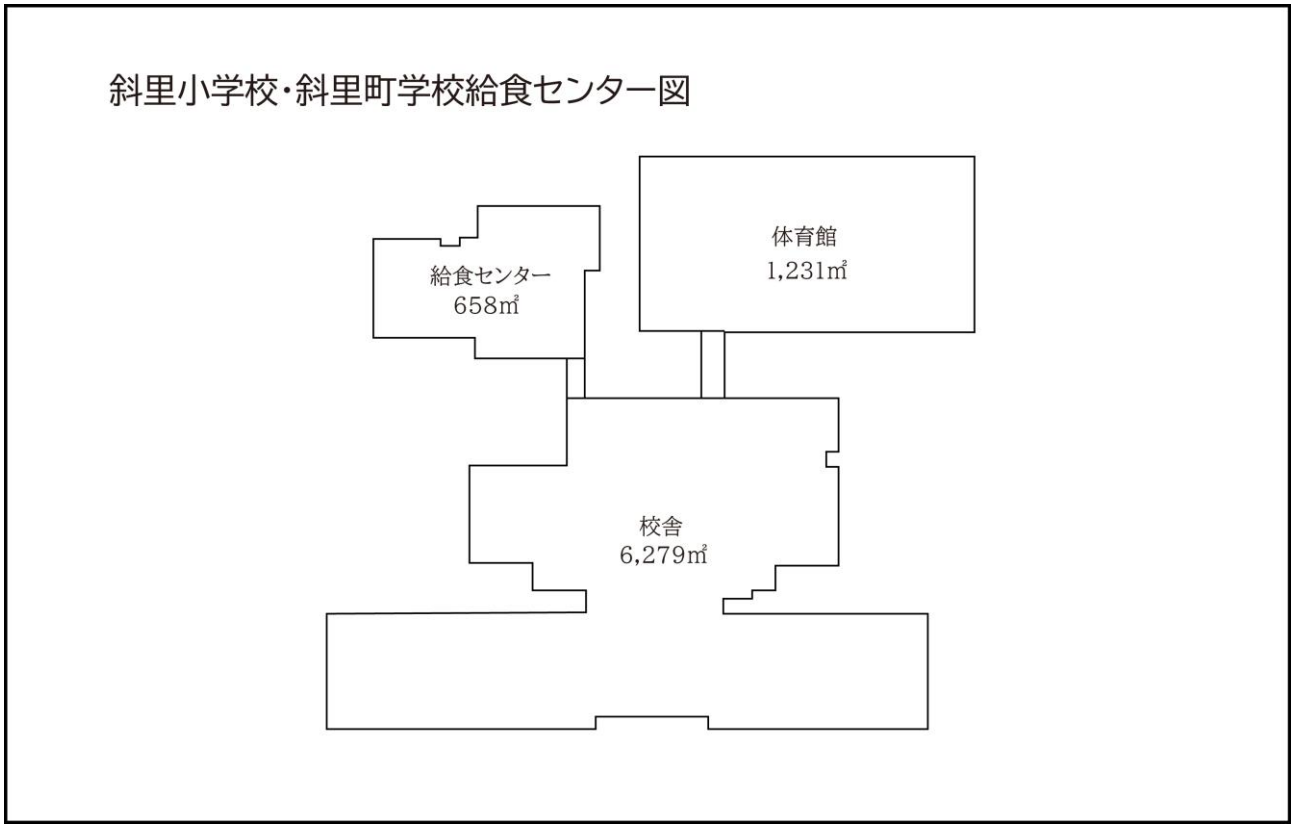
：築 30 年以上　　C ： 広範囲に劣化　　D ： 早急に対応する必要がある

通し番号	建物基本情報							劣化状況評価					
	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度（年）	築年数（年）	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）
1	斜里小学校	校舎	RC	3	6,279	1990（H2）	30	B	B	B	B	B	75
2	斜里小学校	体育館	S	2	1,231	1992（H4）	28	B	B	B	B	B	75
3	朝日小学校	校舎	RC	3	4,046	1988（S63）	32	B	B	B	B	B	75
4	朝日小学校	体育館	S	2	1,200	1988（S63）	32	A	B	B	B	B	77
5	斜里中学校	校舎①	RC	4	2,553	1977（S52）	43	A	A	B	A	B	88
6	斜里中学校	校舎②	RC	2	2,586	1978（S53）	42	A	A	B	A	B	88
7	斜里中学校	校舎③	RC	1	419	1978（S53）	42	A	A	B	A	B	88
8	斜里中学校	校舎④	S	1	594	1978（S53）	42	A	A	A	A	A	100
9	斜里中学校	体育館	RC	2	1,617	2012（H24）	8	A	A	A	A	A	100
10	斜里中学校	武道場	S	1	510	1978（S53）	42	A	A	B	A	B	88
11	知床ウトロ学校	校舎	RC	2	3,412	2002（H14）	18	B	B	A	A	A	91
12	知床ウトロ学校	体育館	S	1	1,210	2002（H14）	18	B	B	A	A	A	91
13	斜里町学校給食センター	給食センター	RC	1	658	1990（H2）	30	B	B	B	B	B	75

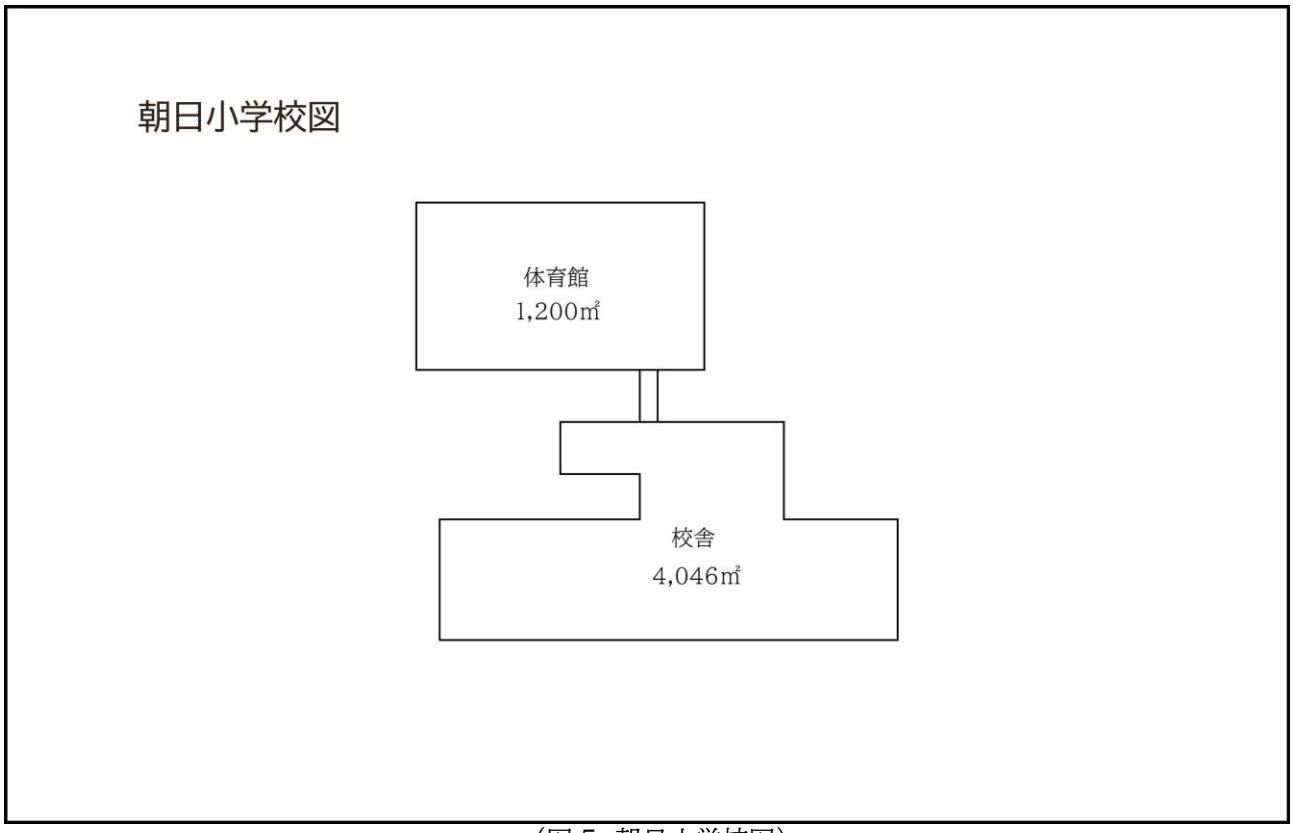
RC＝鉄筋コンクリート造　　S＝鉄骨造

（表 7　学校施設劣化度評価結果一覧）

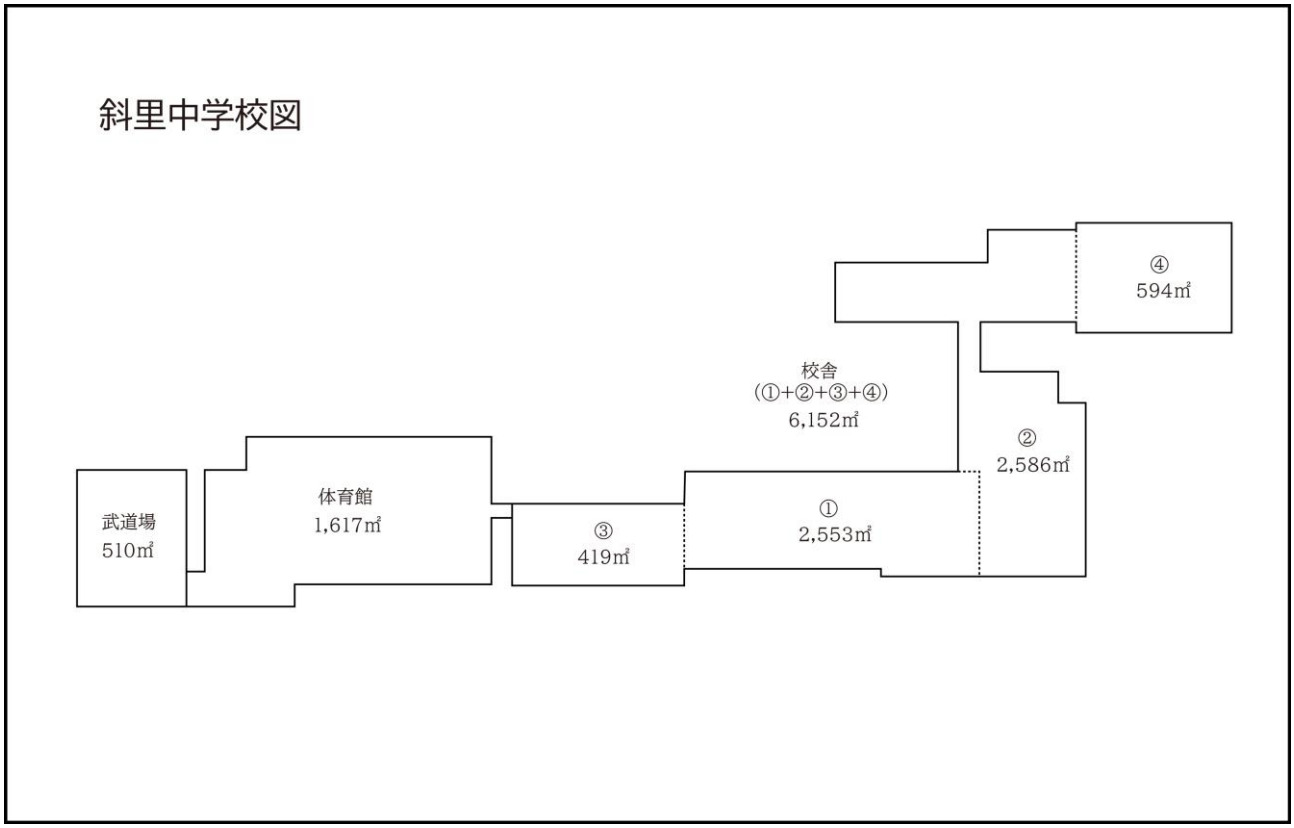
※斜里中学校の校舎は 1 つですが、建築年度や構造の違いから、本調査においては、便宜上①～④に分けています。



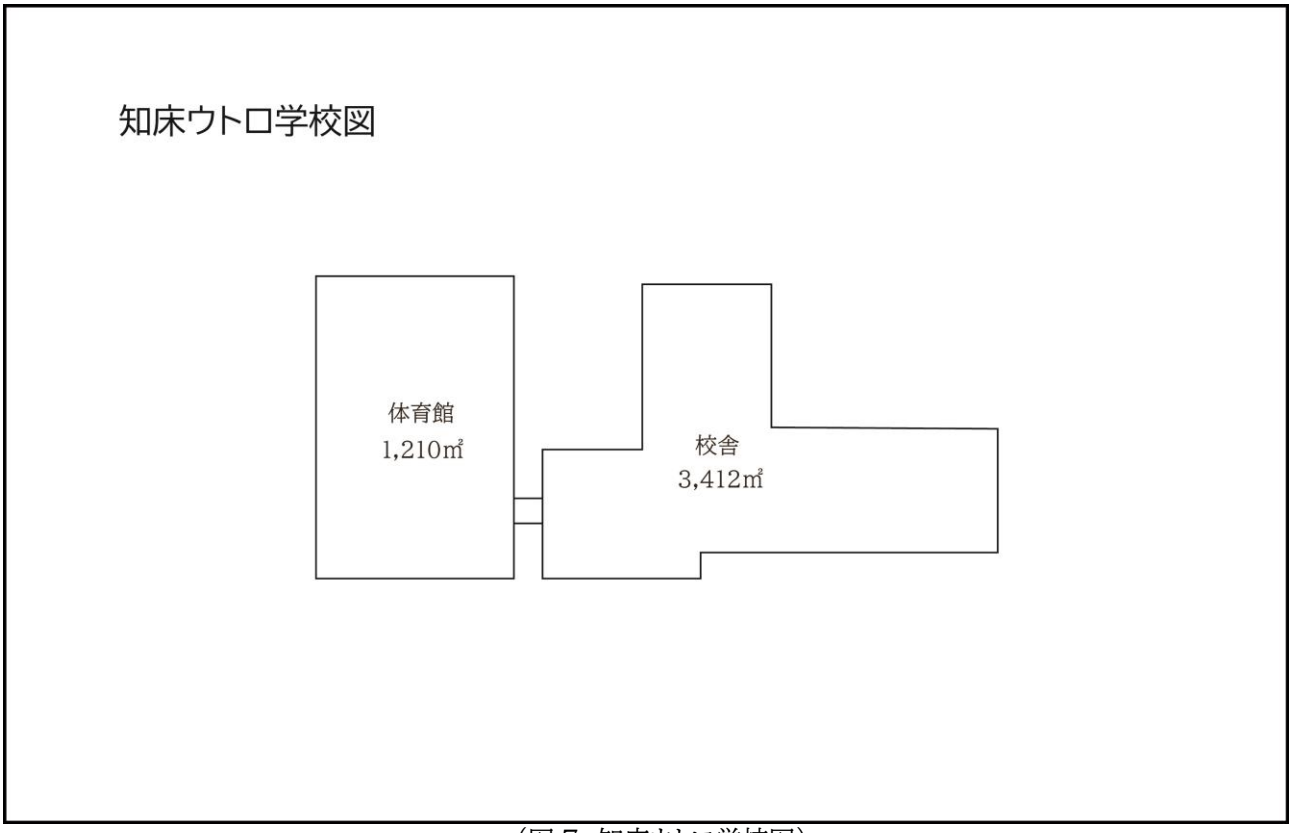
（図４　斜里小学校・斜里町学校給食センター図）



（図５　朝日小学校図）



（図６　斜里中学校図）



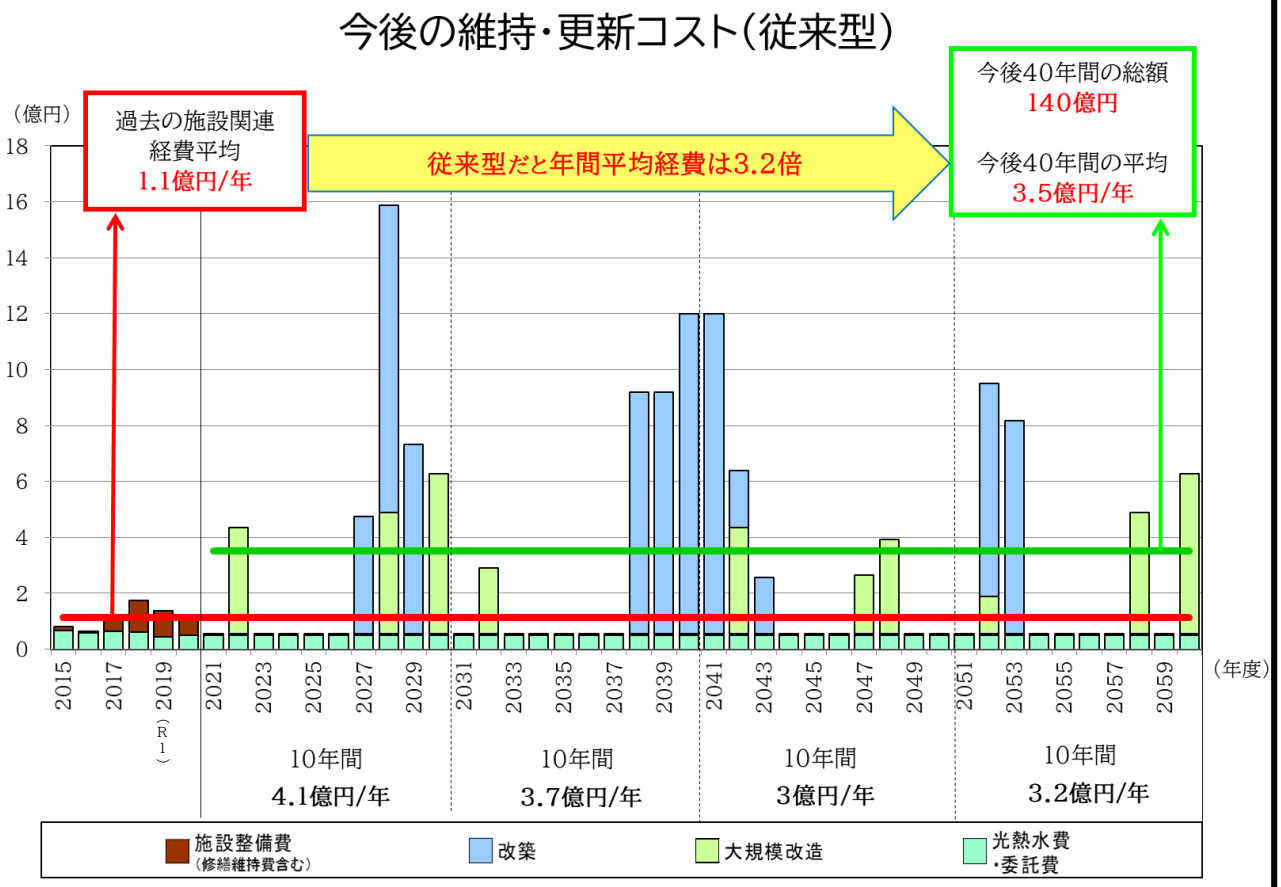
（図７　知床ウトロ学校図）

(6)今後の維持・更新コスト(従来型)

従来型の「改築」と「大規模改修」による維持・管理を行った場合の、今後 40 年間(2021～2060 年)のコストを試算します。

○ コスト試算条件

改築	： 50 年	単価	330,000 円/㎡(町総合管理計画による)
大規模改修	： 20 年	単価	82,500 円/㎡(改築単価の 25%)
過去の施設関連経費：	1.1 億円 (過去 5 年間の経費の平均)		



(図 8 維持・更新コストグラフ(従来型))

⇒改築と大規模改修による整備を行った場合、今後 40 年間の総額は 140 億円、平均では過去の施設関係経費の約 3.2 倍にあたる 3.5 億円/年となることが分かります。

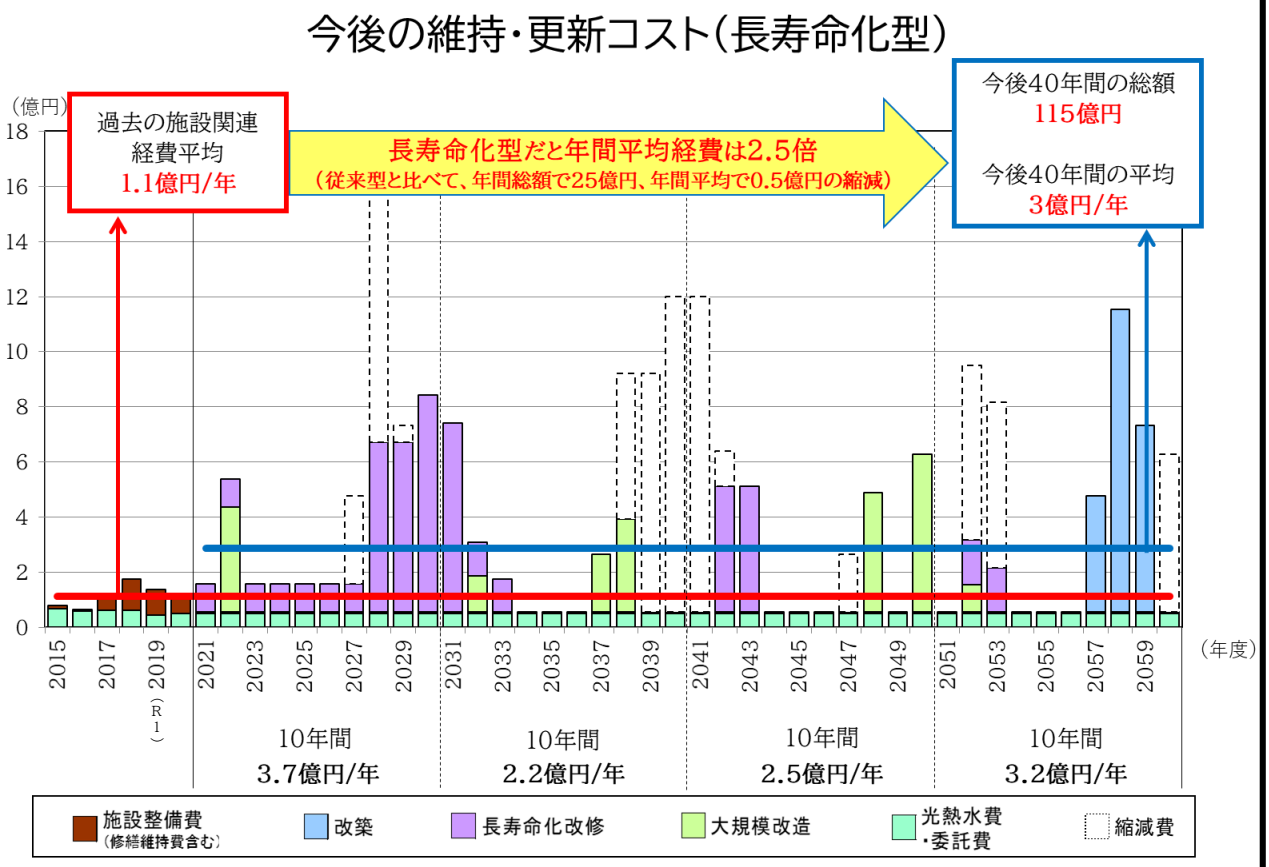
⇒また、2027(R9)年から 2029(R11)年、2038(R20)年から 2041(R23)年にかけて改築対象校が集中しており、この期間にコストが集中的にかかることが想定されます。

(7)今後の維持・更新コストの把握(長寿命化型)

長寿命化型による維持・更新を行った場合の今後40年間(2021～2060年)のコストを試算します。

○ コスト試算条件

長寿命化改修 ： 40 年　　単価　198,000 円/㎡(改築単価の 60%)



(図 9　維持・更新コストグラフ(長寿命化型))

⇒改修費用が一定期間に集中しないよう、複数年に分散させて平準化させています。

⇒従来型と比べると、40 年の総額で 25 億円、年間平均では 0.5 億円/年のコストを縮減することができます。

第4章　学校施設整備の基本的な方針等

1. 斜里町学校施設管理計画の基本方針

斜里町公共施設等総合整備計画の公共施設等の管理に関する基本的な考え方を踏まえ、斜里町学校施設管理計画は以下の基本方針とします。

(1)予防保全による長寿命化の推進

●斜里町公共施設等総合管理計画

将来にわたり長く利用する施設は、補修・改修を計画的かつ予防的に行うことにより、劣化の進行を遅らせ、施設の機能・品質を維持します。老朽化による破損や機能低下が予見されるときは早めに改修を行うことで、施設の耐用年数を延ばす(長寿命化)ことを目指します。

⇩

●斜里町学校施設管理計画

今後、劣化が進んだ施設から順に、目標耐用年数 80 年まで使用できるよう建物の健全度を回復するための改修を行います。その際には、財政状況を踏まえて、教育環境の質的向上や社会的なニーズに対応するための改修を検討します。

また、町を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、社会情勢や町民ニーズを踏まえながら、5 年ごとに斜里町学校施設管理計画の見直しを行い、中長期を見据えた財政負担の平準化やライフサイクルコストの低減を図ります。

(2)安全性への配慮の推進

●斜里町公共施設等総合管理計画

パトロールや劣化状況診断において、供用中の施設に高い危険性が認められた場合は、利用や通行を規制するなどの安全確保措置を速やかにとるとともに、他の施設による代替可能性を含めて補修や改修などの機能確保策を検討します。

⇩

●斜里町学校施設管理計画

日常点検、定期点検などを通じて学校施設の劣化状況を把握するとともに、災害発生時の機能保持のため、安全性の確保に努めます。

2. 改修等の基本的な方針

(1)方針

今後は、従来の改築中心の維持管理方法から、長寿命化改修工事等による建物の長寿命化方針に切り替え、事後保全的な改修ではない、予防保全的に改修していくこととします。長寿命化方針では、築約 20 年(または長寿命化改修から約 20 年)を迎えた建物について予防保全的な改修工事を行い、築約40年で長寿命化改修工事を行うことで、建物を約80年間使用できるように改修していくことでトータルコストを抑えます。

(2)整備内容

○整備の進め方

劣化度調査結果を基本とし、改修の効率性等を総合的に勘案して決定します。

また、改修は校舎を優先とするが、屋体についても劣化状況を考慮して実施し、個別の整備内容や手法等については、本町の財政状況を十分に考慮して効率化に努めます。

○老朽化への対応

建築から長期間が経過し、経年劣化により失われた建物の安全性の回復を図り、建物を将来にわたって長期間使用できるよう整備します。具体的には、水道、ガス、電気等のライフラインの更新、壁・床・屋根の断熱化等を行います。

○学習環境の変化への対応

近年の教育内容・形態の多様化や ICT 化に対応した教育環境を整備するため、教育機器の拡充や機能性を向上させます。

○バリアフリー化

災害時に避難所として学校施設が使用されることが想定されることから、誰もが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインを取り入れる等の施設のバリアフリー化を図ります。

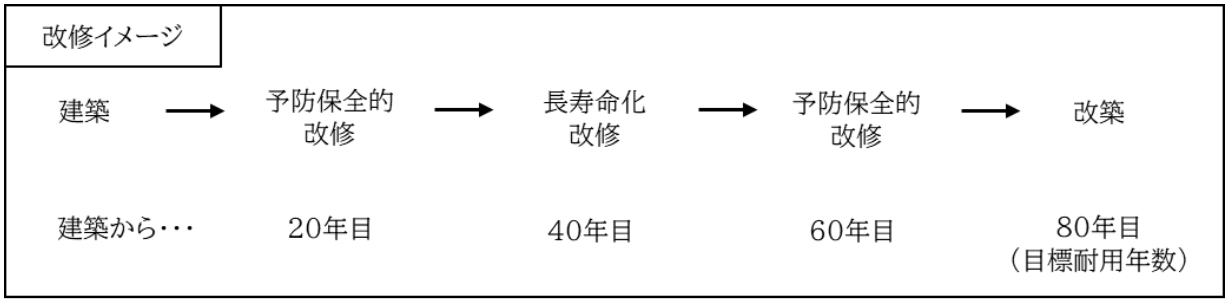
第5章　斜里町学校施設管理計画の実施計画

1. 改修等の優先順位付けと実施計画

各学校施設の建築年数及び劣化度調査における健全度の数値を勘案し、今後 40 年間で改修・改築をしていく学校施設を 10 年毎の 4 期に分けました。

	第１期	第２期	第３期	第４期
年度	R3～R12 （2021～2030）	R13～R22 （2031～2040）	R23～R32 （2041～2050）	R33～R42 （2051～2060）
対応方針	概ね 10 年以内に 改修	概ね 20 年以内に 改修	概ね 30 年以内に 改修	概ね 40 年以内に 改修・改築
施設名	朝日小学校（校舎）	知床ウトロ学校（校舎）	朝日小学校（校舎）	斜里小学校（校舎）
	朝日小学校（体育館）	知床ウトロ学校（体育館）	朝日小学校（体育館）	斜里小学校（体育館）
	斜里小学校（校舎）	斜里中学校（校舎）	知床ウトロ学校（校舎）	斜里中学校（校舎）
	斜里小学校（体育館）	斜里中学校（体育館）	知床ウトロ学校（体育館）	斜里中学校（体育館）
	斜里町学校給食センター			斜里町学校給食センター

（表８　長寿命化改修の優先順位）



（図 10　改修イメージ）

〈第１期の改修・改築内容〉

施設名＼改修内容	長寿命化改修					予防保全的改修	改築
	屋上防水改修	外壁改修	内部改修	電気設備改修	機械設備改修		
朝日小学校（校舎）	○	○	○	○	○	○	－
朝日小学校（体育館）	○	○	○	○	○	○	－
斜里小学校（校舎）	○	○	○	○	○	○	－
斜里小学校（体育館）	○	○	○	○	○	○	－
斜里町学校給食センター	－	－	－	－	－	－	○

〈第２期の改修・改築内容〉

施設名＼改修内容	長寿命化改修					予防保全的改修	改築
	屋上防水改修	外壁改修	内部改修	電気設備改修	機械設備改修		
知床ウトロ学校（校舎）	－	－	－	－	－	○	－
知床ウトロ学校（体育館）	－	－	－	－	－	○	－
斜里中学校（校舎）	○	○	○	○	○	－	－
斜里中学校（体育館）	－	－	－	－	－	○	－

〈第３期の改修・改築内容〉

施設名＼改修内容	長寿命化改修					予防保全的改修	改築
	屋上防水改修	外壁改修	内部改修	電気設備改修	機械設備改修		
朝日小学校（校舎）	－	－	－	－	－	○	－
朝日小学校（体育館）	－	－	－	－	－	○	－
知床ウトロ学校（校舎）	○	○	○	○	○	－	－
知床ウトロ学校（体育館）	○	○	○	○	○	－	－

〈第４期の改修・改築内容〉

施設名＼改修内容	長寿命化改修					予防保全的改修	改築
	屋上防水改修	外壁改修	内部改修	電気設備改修	機械設備改修		
斜里小学校（校舎）	－	－	－	－	－	○	－
斜里小学校（体育館）	－	－	－	－	－	○	－
斜里中学校（校舎）	－	－	－	－	－	－	○
斜里中学校（体育館）	○	○	○	○	○	－	－
斜里町学校給食センター	－	－	－	－	－	－	○

※機械設備・・・給水配管、温水配管、衛生器具、放熱器、換気設備、排水管等

2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

今後の学校施設の維持・更新コストは、長寿命化改修への転換を図ったとしても、今後 40 年間（2021～2060 年）で年間平均 3 億円程度と見込まれ、事業費が大きな学校施設の整備は、町財政において大きな負担となってきます。

しかしながら、学校施設の老朽化は、早急な対応が不可欠であり、財政計画への反映が待たれるとともに、今後の学校施設の保全に当たっては、維持・更新コストの縮減を図る一方で、施設の運営、活用についても検討する必要があります。また、長寿命化による効果としては、資産の有効活用、財政面や環境への貢献、学校施設配置の最適化に向けた検討時間の確保などが期待できます。

第6章　斜里町学校施設管理計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

斜里町公共施設等総合管理計画の基本的な方針に従い、管理・運営状況等に関わる情報を公共施設全体として一元的に把握し、効率的かつ効果的な維持管理に向けた取組を推進することを目指して、過去の改修、故障の発生状況等をデータベースとして蓄積することとします。

また、今後は日常の点検・調査の結果及び各年度の公立学校施設台帳に基づいて適切に更新を図り、一元管理するとともに、先進的な取組から経費削減に向けた技術や情報等を積極的に取得し、適切な整備を行っていきます。

2. 推進体制等の整備

本計画は、教育施設を所管する教育委員会が中心となって推進していきますが、斜里町公共施設の一部であることから、斜里町公共施設等総合管理計画との整合性を図りつつ、地域に開かれた施設となるよう計画の進捗状況を管理していきます。

また、施設の設置者として定期的に点検・調査を行い、学校管理者である学校長と連携して施設の状況把握に努めるとともに、町の建築担当部署からの指導・助言を受けながら、効率的・効果的な施設のマネジメントを総合的に進めていきます。

3. フォローアップ

本計画は、10 年間という長期の計画であり、学校教育を取り巻く環境の変化や児童生徒数の推移、社会情勢の変化等に対応する必要があるため、5 年ごとに PDCA サイクルによる見直しを行い、無駄のない効率的な事業推進の実現性・実効性を確保します。

斜里町学校施設管理計画

令和３年３月策定

〒099-4192

北海道斜里郡斜里町本町 12 番地

斜 里 町 教 育 委 員 会

TEL　0152-26-8391

FAX　0152-23-5354

e-mail　shk.soumu@town.shari.hokkaido.jp